

まちづくり応援団の結成について



渡辺幸一 議員

地域づくり事業等に住民の知恵や提案を生かすため各地域で住民主体の組織を結成し、定期的な検討会を開き活動するための応援団にまちづくり事業補助金を創設し、住民参加のまちづくりを進めていく考えは。

町長

当町において、町づくり条例を町民の皆さんとも議論をさせていただき、提案を受けて、制定した。

一つの例として、文化祭は、どこの町村でも町が主体になり開催しているが、当町は文化連盟が主体で開催している。今年で26回になり補助金は毎年60万円交付している。また、それ以外にNPO法人



昨年の文化祭の様子（中央公民館）

公共施設の老朽化対策について



美濃国山麓クラフト展
（大津谷公園一帯）

にも活動支援体制をするための補助金要綱をつくり、平成18年に300万円の予算を上程し審査をして、補助金を交付している。今後も進めていく。

各地域の魅力を発信していただいている直近の例として、宮地地区のクラフト展にも補助金を交付している。これからも町民の皆さんから要請が出れば、洪ることなく、きちんと支援していく。そして、一緒に活力ある地域づくりに取り組んでいく。

高度成長期に建設された多くの公共施設、いわゆるインフラの老朽化は100%発生することが確実な、緩やかな災害とも言われている。当町においても池田温泉で天井が落下し、けが人が出た事案がある。池田温泉は、当町の観光施設の目玉である。その施設である本館棟は築17年が経過し、建物は22年にリニューアルされたが、温泉の心臓部である、ろ過装置、ボイラーは更新の時期にきていると思う。他にも公共施設があるが、計画的な対策をとっているの



池田温泉本館機械室内部の状況

か、緊急に必要な補修にとどまっているのか、現状と今後の対応は。

町長

池田温泉のろ過機については、毎年メンテナンスを実施している。ボイラー設備については、更新の時期にきているので考えていく。他の施設については全ての施設が昭和50年代に建設され、緊急性の高い順に対策していく。多くの予算を投入しなくてはならないため、慎重に財政計画とあわせ実施していく。加えて、道路関係、特に長大橋が38橋ある。免震対策を含め、長寿命化を図る時期にきている。災害時に、安全で安心していただける対策を考えていく。



橋の老朽化対策が急務（八幡地内）